

愛知県経済の現状と見通し<2013年8月>

1. 総括判断

景気の現状	景気は回復に向けた動き	基調判断の 前月との 比較(注1)	↑	水準 評価 (注2)	☀️ ☁️
当面の見通し	回復に向けた動きが持続する見通し				

2. 個別項目の動向

個人消費	基調判断	一部に回復に向けた動き			図表1	名古屋市・百貨店販売額<前年比>
	基調判断の前月との比較	↑	水準評価	☁️		
<p><<現状>></p> <p>○『管内大型小売店販売』より、個人消費の動向を販売者側からみると(図表1)、6月の名古屋市内百貨店販売額は前年比+10.2%と5か月連続の増加で2007年6月以来の二桁の伸び。</p> <p>○品目別にみると、株価上昇等を背景とした消費マインドの改善により貴金属や宝石、腕時計などの高級品が引き続き好調であることなどからその他商品(前年比+9.5%)が堅調なことに加え、主力の衣料品(同+12.2%)も2007年6月以来となる二桁の伸び。</p> <p>○一方、7月の新車乗用車販売(含む軽)をみると(図表2)、32,364台・前年比▲7.6%と3か月連続の前年比マイナス。</p> <p>○車種別にみると、軽自動車(前年比+4.7%)は5か月ぶりの前年比プラスとなったものの、小型車(同▲14.1%)、軽乗用車(同▲10.2%)はいずれも3か月連続のマイナス。</p> <p><<見通し>></p> <p>○消費者マインドは引き続き改善基調。高額商品の売れ行きが好調なことに加え、衣料品など一般商品も販売増加の動き。8月下旬から9月にかけても引き続き猛暑が続くとみられ、衣料品、飲食料品、家電などで幅広い分野で消費活動が活発化する見込み。</p> <p>○乗用車については、これまで出ていたエコカー補助金等の効果で大幅増加となった前年の動きの影響が薄まりつつあり、今後は消費税率引き上げ前の購入需要や新型車投入効果などから、販売は堅調に推移する見通し。</p>						
					図表2	新車乗用車販売台数<前年比>
					<p>◆7月 新車乗用車販売台数<含む軽></p> <p>32,364台 前年比▲7.6%(3か月連続の減少)</p>	

(注1)「基調判断の前月との比較」は、基調判断の表現を前月と比べたもので、↑:上方修正、⇄:据え置き、↓:下方修正を示す。例えば、「回復」→「減速」となれば下方修正、「回復」→「回復」なら据え置き、となる。したがって、矢印は景気全体ならびに個別項目の方向感を示すものではない。

(注2)「水準評価」は、景気全体ならびに個別項目の水準について5段階で判断するもので、☀️:晴、☀️☁️:晴～曇、☁️:曇、☁️☔️:曇～雨、☔️:雨、を示す。

お問い合わせ先	三重銀総研 調査部 別府
	電話: 059-354-7102

雇 用 情 勢	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☀️ ☁️
	<p>《現状》 ○6月の求人倍率をみると(図表3)、有効求人倍率(季節調整値)は1.33倍と4か月連続、新規求人倍率(同)は2.10倍と2か月ぶりに上昇。 ○愛知県の有効・新規求人倍率はともに東京に次いで全国2位と依然として高い水準で推移。</p> <p>《見通し》 ○製造業の生産活動が回復基調を維持するなかで、今後の求人動向も好調に推移する見通し。</p>			

図表3 有効・新規求人倍率<季節調整値>

(資料)厚生労働省「一般職業紹介状況」

◆6月 求人倍率<季節調整値>

- 有効求人倍率: 1.33倍
前月差+0.03ポイント(4か月連続の上昇)
- 新規求人倍率: 2.10倍
前月差+0.18ポイント(2か月ぶりの上昇)

企 業 活 動	基調判断	一部に回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	→	水準評価	☁️
	<p>《現状》 ○5月の鉱工業生産指数をみると(図表4)、前年比+2.4%と10か月ぶりのプラス転換。県内の生産動向に大きな影響を与える輸送機械(同+2.8%)の増加が主因。</p> <p>《見通し》 ○愛知県の鉱工業生産に影響力の大きいトヨタ自動車の国内生産動向をみると、6月は再びマイナス転換。もともと、エコカー補助金等の政策効果で大幅増となった前年の影響もあり、生産の基調は引き続き回復傾向。</p>			

図表4 鉱工業生産<前年比>

(資料)愛知県県民生活部統計課「愛知県鉱工業指数」

◆5月 鉱工業生産

- 前年比+2.4%(10か月ぶりの上昇)
- うち輸送機械 前年比+2.8%(9か月ぶりの上昇)

輸 出	基調判断	回復に向けた動き		
	基調判断の前月との比較	↗️	水準評価	☁️
	<p>《現状》 ○6月の名古屋港通関輸出額をみると(図表5)、前年比+11.1%と6か月連続の増加。二桁の伸びは3か月連続。 ○仕向地別にみると、米国向け(前年比+19.8%)が引き続き好調なことに加え、中国向け(同+12.8%)が2か月連続で二桁の伸び。</p> <p>《見通し》 ○一般機械は中部5県主要メーカーの海外受注高(6月:前年比+5.9%)が2か月連続のプラス。アジア向けが2か月ぶりに前年比マイナスとなったものの、米国向けと欧州向けが2か月連続のプラス。米景気回復に伴い米国向けが引き続き堅調に推移する見通し。</p>			

図表5 名古屋港通関輸出額<前年比>

(資料)名古屋税関「管内貿易概況」

◆6月 名古屋港通関輸出額

9,328億円 前年比+11.1%(6か月連続の増加)